

人権作文紹介

10月14日(土)に行われた広川町人権啓発・青少年育成推進大会で発表された作文を紹介します。



耐久中学校 3年 松林 陽和

認知症と向き合う

今年の春休み、私は一年ぶりに曾祖母に会った。私の母の祖母にあたる人だ。曾祖母は、私達とは少し離れた所に住んでいるため、頻りに会うことはなく、会うのは年に一度、正月に親戚が集まる日だけだった。しかし、今年の正月の親戚の集まりに、曾祖母は顔を出さなかった。介護福祉施設に入居したからだ。だから、私は春休みに会いに行った。

年前より痩せて見えた。他にも曾祖母に起こった変化はいくつもあった。

一番の変化は、認知症を患っていたことだ。たくさんのことを忘れていた。自分が話したことも、数分後には忘れていた。自分が今、居る場所をわかっていなかった。一緒に行った祖母のことはちゃんとわかっていても、私のことは、顔も名前も、覚えていないはずはなかった。何度も何度も同じことを言った。「あんたは、誰や。」「私は今、ここに居るんか。ここ、どこや。」「そう、何度も何度も、曾祖母は繰り返した。

でも、そんな曾祖母が、私が誰なのかを認識する術が一つだけあった。「お母さんが今履いている靴あるやろ。その靴プレゼントしてくれたのが○○。この子は○○の娘やで。」「祖母が曾祖母にそう言うと、「ああ、○○の子やったんか、あんた。」「曾祖母は、そうやって、私が誰なのかをわかってくれた。

曾祖母は、私の母が「敬老の日」にプレゼントした靴を、すぐくすぐり気に入っていたのだ。嬉しそうに笑う顔が素敵だった。「サンキューベリーマッチって、あん

たのお母さんに、伝えといてな。」そんな陽気なことまで口にしていた。そんなやり取りも、何度も何度も、繰り返された。私は、それでも、そうして私を思い出してくれるのが嬉しくてたまらなかった。母がプレゼントした靴を通して、私をわかってくれるのが嬉しくてたまらなかった。何より、認知症になっても、嬉しかった思い出は曾祖母の記憶から離れることなく、鮮明に残っているという事実が、嬉しかった。

私は、その時、認知症を患った人と初めてじっくり会話をした。会話を繋げることは、想像以上に難しく、曾祖母の質問に対しての返答に困ることもあった。それでも、曾祖母は、私の話を傾けて、私の話を理解しようとしてくれた。それは、今までの、一年前までと何一つ変わっていない、私の大好きな「ひいおばあちゃん」だった。

今までの私には、認知症に「何もかも忘れてしまう病気」というイメージが強かった。でも、実際は、そうではなかった。

「嬉しい」「楽しい」「悲しい」「寂しい」認知症を患っていたとしても、そういった感情は、私達と同じ

じように、心に存在している。家族のことを忘れても、自分のことがわからなくなっても、たくさんのことを忘れても、私達と変わらない一人の「人間」であるということ。

「人」が一番大切にしなければいけないものを、ちゃんと持っているということ。

私には、認知症になった曾祖母と話してみても、たくさん知ったことがあった。悲しいこともあった。最初は、「怖い」とさえ思った。でも、嬉しいことも楽しいこともあった。そして、同時に、今や国民病とも言われている「認知症」について、社会全体にもっと知識が必要で、これは、他人事にはしてられない話だと、そう、身に染みて感じた。認知症であるという事実の前に、一人の「人間」心をもつ「人間」であるという事実がある。それを忘れてはならないのではないだろうか。

次に会った時には、どうしたって私を思い出せないかもしれない。もっともっとたくさんのことを忘れていくかもしれない。でも、それでも、私は曾祖母が大好きだ。「ひいおばあちゃん、長生きしてね。」

税の作文紹介

昨年11月22日(水)に「中学生の税の作文並びに税の標語」の表彰式で表彰された税の作文を随時、紹介します。(受賞者は広報ひろがわ1月号で紹介しています。)



津木中学校 3年 大崎 雄仁

税金の大切さ

僕は、税金をおさめることとはとても大切なことだと思います。今は、少子高齢化の影響で大きな問題に直面していると思います。だからその問題を解決するためにも税金を納めなくてはならないと思うのです。

税金を納めることは大きなメリットがあると思います。税金は

社会保障の安定化を実現するために大切だと思います。まず、税金をおさめると、国家予算が増えます。国家予算が増えることで様々な制度でお金が使えるようになります。

高齢者が増えて、少子化が進んでいる日本だけ、国家予算が増えればその予算が介護や年金などに使われると思います。その他にも、公共事業費の確保ができると思います。道路や橋の建設による利便性の追求や雇用の増大。他にも災害復旧の整備もできるようにあります。税金には、たくさんのいいことがあります。

こういうことから消費税増税に賛成です。日本のかかえている大きな問題が解決してほしいなと思います。

ですがまだ消費税があがること

について反対している人がいると思います。「消費税ってなんで上がるんやろ」や「このままでいいのに」という声もきいたことがあります。

だけど、税金を納めることは悪いことではありません。震災でおきた被害や被災地の早期復興につながっているのです。僕はこれからも、税金をしっかりと納めて、災害の復興につかってもらいたいと思います。皆さんも消費税が上がることに反対せずに、自分たちで国をささえるんだという気持ちで、税金を納めて欲しいと思います。

僕は、税金が上がることについて、いやだと思っている人がいたら、「税金を納めることは国を支えるのに大切なんですよ。」や、「僕たちで国を支えていきま

しょう。」と、税金にいいイメージを持ってもらえるようにしたいです。

この僕たちが納めていく税金で災害で困っている人たちや、少子高齢化による問題がおさまっていくことをねがっています。



▲表彰式の様子